

1-(1) 史跡岐阜城跡における新発見の石垣について（続報）

(1) 新たな石垣群 発表の反響

- ・天守北西部の中腹において発見された、**新たな石垣群**は、

これまでの岐阜城の概念を考え直させる発見。
(山上の詰城+山麓居館という二元的構造)

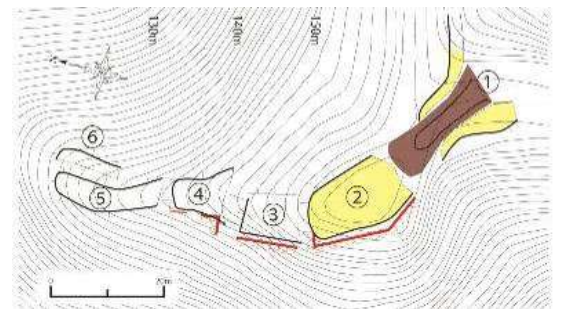
「織田家三代の城」としての姿が、より鮮明に。

⇒ **全国的にも大きな話題**になった。

- ・**秋以降にも、再度見学会を開催する予定。**
→できるだけ多くの方にご覧いただき、
岐阜城の素晴らしさを知っていただきたい。



今回、新たに見つかった石垣の場所

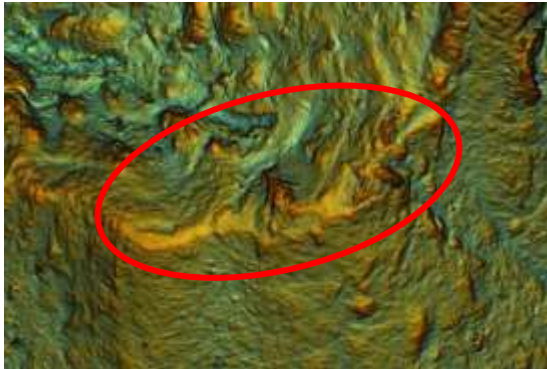


遺構模式図

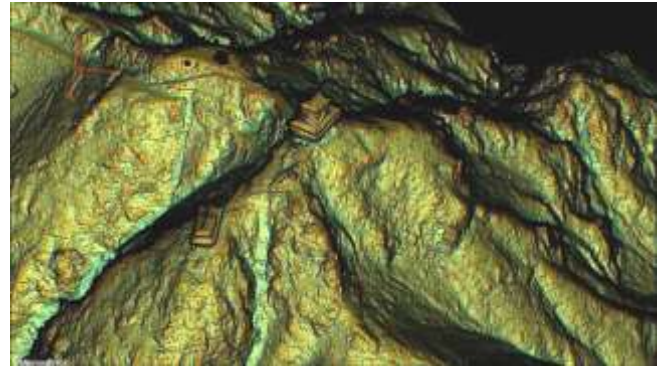
(2) 今回の調査手法について

○航空3次元レーザー測量図の分析

- ・市民有志の要請を受け、社会貢献の一環で、中日本航空株式会社（愛知県）が実施（H28・29）。



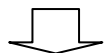
3次元レーザー測量図でみた今回の石垣の場所



3次元レーザー測量データから作成した立体図
(岐阜城天守閣周辺)

○絵図、文献資料の再検討

- ・伊奈波神社所蔵の絵図『いなばじょうしのず稲葉城趾之図』
今回、発見された石垣や平坦地が描かれていると判明。



今後も分布調査にあたっては、様々な資料を活用。

⇒ **引き続き、踏査による分布調査を実施し、**
「史跡岐阜城跡」全体の遺構の把握を行う。



いなばじょうしのず
『稲葉城趾之図』でみた今回の石垣の場所